くつろぎタイム

vol.248　2026.11

編集・発行：八頭町立図書館

郡家図書館　八頭町宮谷 256-4
船岡図書館　〃 船岡 539-1
八東図書館　〃 北山 48-1



犬の本いろいろ

11 月 1 日は犬の鳴き声に合わせ、「犬の日」に定められています。ここでは紹介しきれませんが、八頭町立図書館にも犬が出てくる本や写真集を意外とたくさん所蔵しています。

いろいろな犬の本を読んでみませんか。

『優しい死神の飼い方 死神シリーズ 1』
知念実希人/著　光文社

主人公は 21 世紀を担当する「死神」。だが、魂を「我が主様」のもとへ送るという仕事の成績が振るわない。地縛霊となる人間が多いからだ。そこで、人間が生きているうちから接触し、地縛霊化するのを食い止めるという任務を任せられた主人公は、仮の姿を与えられ地上に送られる。

吹雪の日に「犬」の姿となり、行き倒れかけた主人公は看護師の菜穂に助けられる。菜穂の病院でペットとなった主人公は「仕事」をすることとなるが…。

『さいごの毛布』
近藤史恵/著　KADOKAWA

友人の紹介で老犬ホーム「ブランケット」に住み込みで働くことになった智美。働き始めた翌日、パピヨンが施設の前に置き去りにされる事件が起こる。飼い主が判明するも、その理由は身勝手なものだった。このままだと保健所に行くことになると聞き、智美は思わず犬を引き取ると言ってしまう。

様々な事情で共に暮らせず、飼い主を待つ犬たちの姿に思わずホロリとするところもあります。智美の成長と犬たちの姿に、温かさを感じるストーリーです。

『岩合光昭の日本犬図鑑』
岩合光昭/文　写真　文溪堂

日本犬とは、柴犬、北海道犬、秋田犬、甲斐犬、紀州犬、四国犬の6種類の犬種を指します。そしてこれらの日本犬は国の天然記念物に指定されています。

岩合さんが日本犬を撮影しようと思ったのは、田舎道を歩く柴犬が風景に溶け込み、とても美しく見えたことがきっかけだったそう。可愛かったり、凛々しかったり、色々な日本犬の魅力が詰まっています。

『消えた山人 昭和の伝統マタギ』
千葉克介/著　農山漁村文化協会

マタギの人たちが山で狩猟をするとき、「マタギ犬」と呼ばれる犬たちも活躍しました。主人と共に山に入り、猟犬としての仕事はもちろん、ときには主人を獣から守る存在でもあったマタギ犬。「家族と思わなければならない」と大事にされていたそうです。

本書では、「アカ」というマタギ犬について書かれています。各地のマタギの伝統についても詳しく書かれています。